

令和7年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 5 環境の保全と快適で安全なまちづくり

主要課題	No. 50	地域の犯罪抑止
-------------	--------	---------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4年後の目指す姿	区民の防犯に対する意識が高まることにより、地域ぐるみで支え合う自主的な防犯・安全活動が積極的に行われる環境が整うことで、だれもが安全で安心な生活を送ることができている。	
計画期間の方向性	○区民等の自主的な防犯活動への支援 安全で安心して暮らすことができる地域環境の構築に向け、「安全・安心まちづくり推進地区」の増加に努めるとともに、地域の主体的な防犯・安全活動を促進し、必要な支援を行っていきます。 ○子どもや高齢者に対する犯罪の防止 区民に対する特殊詐欺被害を防止するため、区内4警察署と連携の下、効果的な対策を行っていきます。また、子どもたちを犯罪から守るため、公園や通学路などについて、安全対策を更に推進していきます。	

事業費（令和6年度） 上段：実績 下段：当初予算

1 どのような事業で何をしたか（実績）		戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。							
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割						事業費(千円)
183	安全対策推進事業	防災危機管理課	区民による主体的な防犯活動を促進し、安全・安心なまちづくりを推進する。						31,638千円 (24,802千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 安全・安心まちづくり推進地区指定の町会数		町会	120	121	123			
	② 自動通話録音機の無償貸出し		台	464	274	317			
	③ 「文の京」安心・防災メールの配信		件	104	70	151			
R5(2023)	②自動通話録音機の無償貸し付けの実績については、区内4警察署への配布数が令和4年度400台から5年度200台となっています。								
R6(2024)	特殊詐欺をはじめとした各種犯罪から身を守る防犯対策として区内4警察署と連携をして区民向け防犯講習会（文の京防犯力向上セミナー）を計8回実施し啓発活動を行いました。 また、区民向け防犯講習会（文の京防犯力向上セミナー）の開催時に自動通話録音機の貸出し臨時窓口を設置し貸出しを行いました。								
184	通学路等の防犯カメラの設置	教育総務課	地域ぐるみで子どもの安全を確保する。						767千円 (1,116千円)
	主な取組実績								
	R5(2023)	スクールガードリーダーの巡回や警察からの情報を踏まえ、防犯カメラの効果的な設置場所を検討しました。							
R6(2024)	小学校20校の通学路について、スクールガードリーダー、警察、学校、PTA、地域の方、土木部及び教育総務課による巡回点検を行い、防犯カメラの効果的な設置場所を検討しました。その結果6年度は設置台数の増減はなしとしました。								
185	子ども110番ステッカー事業	児童青少年課	地域ぐるみで子どもの安全を確保する。						595千円 (611千円)
	主な取組実績		単位	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)	R9(2027)
	① 子どもが助けを求めた件数		件	0	0	0			
	R5(2023)	5年度は、小学校PTA連合会の協力で子ども110番ステッカー事業協力店舗等の調査を実施しました。また、新規協力者の呼び掛け等を行うとともに、区内小学1年生には、縮小版ステッカーを配付するなど、子ども110番ステッカー事業の周知を行いました。							
	R6(2024)	6年度は、小学校PTA連合会の協力で子ども110番ステッカー事業協力店舗等の調査を実施しました。また、新規協力者の呼び掛け等を行うとともに、区内小学1年生には、縮小版ステッカーを配付するなど、子ども110番ステッカー事業の周知を行いました。さらに、区内店舗等の新規協力者を確保するために、区商店街連合会会長会にてステッカー掲示並びに事業への協力を依頼しました。							
●特記事項（実績の補足）									

2 社会ではどのような動きがあったか (社会環境等の変化)		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
無	主要課題に関連する法改正があった (今後、法改正がある)	
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった (今後、変化等の可能性がある)	
刑法犯認知件数や特殊詐欺の被害額が増加傾向にあります。		

3 成果や課題は何か (点検・分析)	1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。
---------------------------	---

○区民等の自主的な防犯活動への支援

安全・安心まちづくり推進地区が設置する防犯カメラの設置補助率を6分の5から12分の11に引き上げたことで、前年度5団体から12団体に増加しました。

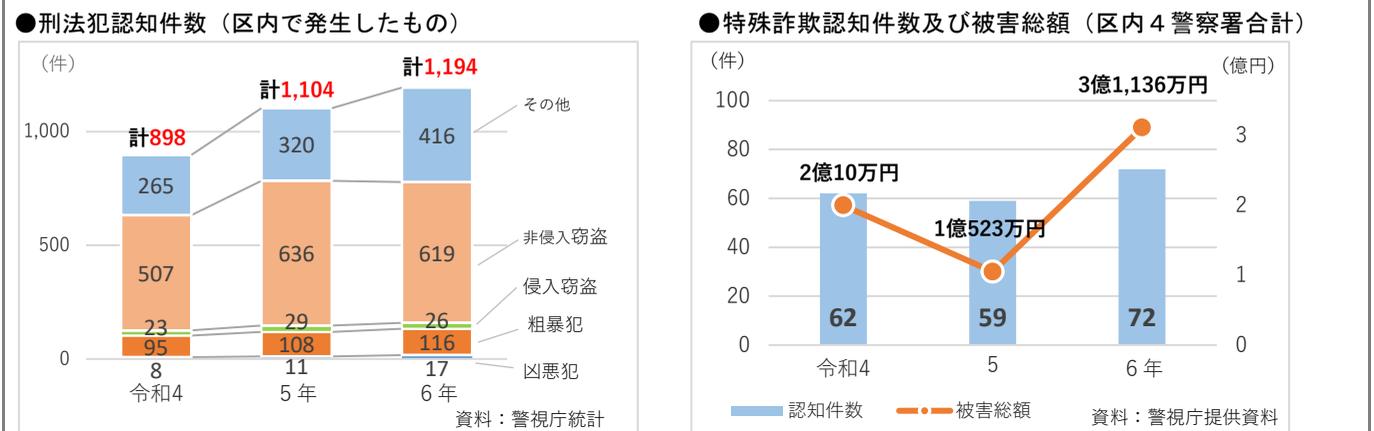
2地区を新たに安全・安心まちづくり推進地区に指定し、区内で防犯対策を推進する地区を構成する町会数は123町会になりました。引き続き、未指定の町会に対し制度の啓発を行い、区内の防犯対策の強化につながるよう努めていきます。

また、いわゆる闇バイトによる強盗事件が相次いだことを受け、区民の体感治安が悪化していることから、緊急対策として、侵入盗被害防止に有用とされる、各家庭における防犯機器等の導入に係る費用の補助を行います。

○子どもや高齢者に対する犯罪の防止

高齢者に対する防犯対策として、新たに区内4警察署と連携をして防犯力向上セミナーを開始しました。また、駅前等で特殊詐欺被害防止の目的とした啓発品の配付を行いました。なお、区報ぶんきょうでも特殊詐欺に注意を呼び掛けるための記事を掲載して、自動通話録音機の貸出しの案内を行いました。しかし、特殊詐欺被害は増加しているため、今後も高齢者を中心とした特殊詐欺被害防止対策の継続を行い一層の強化をしていく必要があります。

子ども110番ステッカー事業の個人の協力者数は、高齢化やマンションのオートロック化などにより、減少傾向にあります。子どもに対する防犯対策としては、学校や区内四警察署からの不審者情報の提供を受けて、登下校時間帯に合わせた青色防犯パトロールを継続していきます。



【SDGsの視点】	
	区内の犯罪、事故等を防止するため、「文の京」安心・防災メールで情報の配信を行いました。
	区内4警察署と連携を強化して、防犯力向上セミナーや特殊詐欺被害防止の目的とした啓発品の配付を行いました。

4 今後どのように進めていくか (展開)	3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、今後の戦略としての進め方を記しています。
<p>区や区内4警察署が実施するイベント事業を活用して、高齢者に対する特殊詐欺被害防止や子どもを犯罪から守る取組を区内4警察署と連携して行います。</p> <p>引き続き、通学路等の防犯カメラの設置・維持管理を適切に行い、子どもたちの通学路の安全確保に努めていきます。子ども110番ステッカー事業では、個人協力者の新規確保が難しい状況にありますが、これまでの広報活動を継続するとともに、今後は、子どもたちが実際に駆け込みやすい店舗や事業所などを中心に協力の呼びかけを行い、協力体制の維持を図ってまいります。</p>	